

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日越両語における擬音語・擬態語について
Author(s)	フィ テイ ホア,
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 29期 : 158 - 173
Issue Date	2014-10-30
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038697
Right	
Relation	



日越両語における擬音語・擬態語について

フィ・テイ・ホア

はじめに

日本語には擬音語・擬態語が数多く存在し、日常会話だけではなく、文学作品、広告においても、頻繁に使われている。日本語学習者にとっては、擬音語・擬態語を習得できれば、日本人との会話がより自然になり、会話力を高めることができる。しかし、日本語の擬音語・擬態語は数が多く、様々な形態を持っているので、外国人の日本語学習者を悩ませると言われる。そのため、擬音語・擬態語について研究することは大きな意義があると思われる。

本研究ではまず、日本語とベトナム語における擬音語・擬態語の形態、及び意味の異同を明らかにし、次に日本語の擬音語・擬態語がベトナム語にどのように翻訳されているか、その現状について調査を行う。また、ベトナム人の日本語学習者を対象として、アンケート調査を行い、擬音語・擬態語を習得する上での問題点を明らかにすることによって、ベトナム人学習者が日本語を習得する際の教授法の構築のための一助としたい。

本論

1. 擬音語・擬態語の定義

擬音語とは、生物の声や無生物の出す音を表す言葉である。

例：雨がザーザー降る。犬がわんわんほえる。電車がゴトゴト走る

擬態語とは、我々人間を含む生物、無生物、自然界の事物の現象・変化・動き・成長などの状態・様子を描写的・象徴的に音声で表現した言葉である。

例：宝石がピカピカ光る。子供がニコニコ笑う。風車がくるくる回る

2. 日越両語における擬音語・擬態語の形態

2.1 日本語

日本語の擬音語・擬態語の形態はモーラによって分け、分類する。

2.1.1 1モーラを基本形に持つ擬音語・擬態語

(1)A型: つ（と立ち上がる）、ふ（とこんなことを考えた）

このような1モーラだけで構成されている形態は日本語の擬音語・擬態語の最も簡単なものである。しかし、用例は少ない。

そして、1モーラの基本形に促音、撥音がついたもの、あるいは母音が長音化された形を持つものは一般的に見られる。

(2)Aっ型：くっ、すっ、だっ、ふっ、きゅっ、しゃっ

(3)Aん型：かん、しん、ずん、どん、ぼん、ふん

(4)Aー型：ぐー、げー、すー、つー、ぼー、きゅー

一般的には、(4)でよりも、これに撥音を伴って、(5)の形で現れることが多い。

(5)Aーっ型：きーっ、ごーっ、すーっ、ふーっ、ぼーっ

(6)Aーん型：だーん、びーん、かーん

(7)反復形：以下に挙げる(7)の擬音語・擬態語はそれぞれ(2),(3),(4)の型の反復形である。

- AっAっ型：くっくっ、ふっふっ、きゅっきゅっ、しゅっしゅっ
- AんAん型：ちんちん、とんとん、どんどん、るんるん、しゃんしゃん
- AーAー型：かーかー、きーきー、つーつー、すーすー、はーはー、きゃーきゃー

2.1.2 2モーラを基本形に持つ擬音語・擬態語

(8)AB型：がば、ひし、ぐい、はた、そよ

これらは2モーラだけで構成されている擬音語・擬態語で、2.1.1(1)の1モーラだけで構成されているものと同じく、数が少ない。その代わり、2モーラの基本形に促音、「り」、撥音がついたものは多い。

(9)ABっ型：するっ、そろっ、びくっ、はらっ、びしっ

(10)ABり型：がらり、さらり、だらり、ひらり、ぱたり

(9)と(10)の形態を持っている擬音語・擬態語の意味はほぼ同じである。しかし、微妙にニュアンスが違ふと考えられている。

上記の(9)と(10)の促音、「り」がついた形態に加えて、(11)のものは撥音を伴った形態を持っている擬音語・擬態語である。

(11)ABん型：がちん、ずきん、ばたん、ぴくん

数は少ないが、2モーラの間には促音、撥音をはさむものも見られる。

(12)AっB型：どっか、にっこ、によつき、はっし

(13)AんB型：むんず、ざんぶ

2モーラの間には促音をはさんで、語末に「り」をとるもの

(14)AっBり型：うっすり、くっきり、そっくり、にっこり、はっきり

2モーラの間には撥音をはさんで、語末に「り」をとるもの

(15)AんBり型：ぼんやり、ふんわり、こんがり、にんまり、げんなり

(16)反復形：用例の多い形態である。

- (8)の反復形：がばがば、ひしひし、ぐいぐい、そよそよ
- (10)の反復形：きらりきらり、ぷかりぷかり、こちんこちん、ずしんずしん
- (11)の反復形：ずきんずきん、がちんがちん、ばたんばたん、ぴくんぴくん

(17)反復形の変種：がさごそ、からこと、がたんごん

(18)その他：とんちんかん、こけこっこう、つんつるてん

2.2 ベトナム語

音節によって擬音語・擬態語の形を分ける。

ベトナム語の擬音語・擬態語で一番短い形態は一音節のものである。

音節とはそれ以上短く切って発音できない、それ自身の中には切れ目がないと認識される形式である。

ベトナム語の音節構成は頭子音+母音+語末音+声調の形をしている。

母音+語末音の単位は韻として求められる。

声調：母音と子音の組み合わせ以外にさらに声調が加わって、一つの音節を構成する。ベトナム語には6種の声調があり、各音節は必ずいずれかの声調を持つ。この声調が変わると、言葉の意味も変わってしまう。

表1：ベトナム語の音節の構成

音節			
頭子音	韻		声調
	母音（単母音、 二重母音）	語末音	
m	eo		mèo
ng	o	n	ngon
h	iê	n	hiên
x	i	nh	xinh

2.2.1 単音節語

ベトナム語では一音節の擬音語・擬態語の数は少ない。そして、ほとんどが擬音語である。

例：xoẹt「ソェツ(ト)」：(紙、ひもなどを裂くときに出す音)

choang「チョァン」：(金属のぶつかる音)

bộp「ボッ(ブ)」：(実が木から落ちる時などに出る音)

2.2.2 二音節語（繰り返す語）反復形：

二音節からなる擬音語・擬態語はそのほとんどが反復形である。そして、反復形には完全に繰り返されるものと部分的に繰り返されるものがあり、そこには厳密な規則がある。

(1)完全に繰り返す語

例：làu làu「ラウラウ」：(ペラペラ話す)

rào rào「ラオラオ」：(雨がざーざー降る)

meo meo「メオメオ」：(猫の鳴き声)

(2) 部分的に繰り返す語:

a. 頭子音が繰り返される

例: *rình rịch* 「リンリッ(チ)」: (足が木の床を踏むときの出す音)

tích tắc 「チッ(チ)チャッ(ク)」(時計の鳴る音)

thình thịch 「ティンティッ(チ)」(どきどきする)

b. 韻と声調が繰り返される

例: *hấp tấp* 「ハッ(プ)」: (せかせか)

lạch cách 「ラッ(チ)カッ(チ)」: (硬い物と硬い物が当たる音)

2.2.3 三音節語と四音節語

例: *cục ta cục tác* 「クッタクッタ」: (卵を産む時や怖い時など雌鳥の鳴き声を表す擬声語である)

ò ó o o 「オーオーオオ」: (朝の雄鶏の鳴き声)

2.3 まとめ

以上のように、両語の擬音語・擬態語の最も一般的な形態は反復形であることがわかった。日本語の擬音語・擬態語においては、促音、「り」、撥音がついたものや長音化されたものが多くみられる。ベトナム語よりも日本語の擬音語・擬態語のほうが、形態が様々あることも明らかになった。

3. 日越両語における擬音語・擬態語の音と意味との関係

3.1 日本語

3.1.1 母音

(1) 母音「あ」

母音「あ」を含む語は「大きい」「広い」「平べったい」「華やか」の情感を表す。

例: 「あはは」: 明るくて大らかな笑い

「ザーザー」: 大量の水が、勢いよく流れたり、落ちたりする時の音

「ぱらぱら」: 粉状のものなどが、連続して、落ちて、他の物に当たった時などに
出る澄んだ音

「あ」は口を大きく開けて大らかに発音するので、広がりとしての大きさがイメージされる。また、「あ」には外に向かってのオープンな広がり感に加えて、明るさ、温かさなども感じられる。

(2) 母音「い」

母音「い」は「小さい」「鋭い」「甲高い音」というニュアンスを表現する。

母音「い」は発音的には口元に力を入れ強く息を出そうとするので、意志的なものが強く感じられる。加えて、一直線のイメージも感じられる。

例：「ちりちり」：縮む様子

「ちかちか」：鋭い光が断続的に点滅する

(3) 母音「う」

母音「う」は暗くてくすんだ心理的な情感のイメージを表す

例：「うふふ」：胸に一物ある含み笑い

「ぐずぐず」：何かと文句・不平などを言う様子

「うとうと」：浅く眠っている様子、あるいは、意識を失っている様子。

(4) 母音「え」

母音「え」を持つ擬音語・擬態語はほとんどの場合、「悪い」あるいは「マイナス」という意味を持っていると考えられる。しかし、「プラス」の意味を持つものも存在する。

・「マイナス」の意味を持つ母音「え」を含むオノマトペは「締まりのない、下品さ」のニュアンスや「不快に粘り気が強い」などの様子を表すものである。

例：「けらけら」：かん高く軽々しい感じの笑い声

「せかせか」：気がせいて落ち着かない様子

「でれでれ」：態度・行動・ものの言い方などにしまりがなく、だらしない様子

・以下の例のように、母音「え」を含む擬音語・擬態語の中には「プラス」の意味を持つものもみられる。

例：「せっせと」：休まず熱心に事を行う様子

「めきめき」：成長・進歩の速い様子

「てきぱき」：物事を要領よく手早く処理するようす

(5) 母音「お」

母音「お」は大きさ、円やかさに加えて、こもる感じからくる、重さ、人間の消極的心理情感を表す。

例：「おずおず」：怖がったり、恐れを抱いたり、しりごみしたりする様子

「おどおど」：おびえて、落ち着かないようす

母音「あ」が「全面」という概念を表すのに対して、母音「お」は「部分」「内包」という概念を象徴的に表現すると考えられる。

3.1.2 特殊音節（促音、撥音、長音）

(1) 促音

擬音語・擬態語に現れる促音は語末に起こるものと語中に挿入されるものがある。それぞれの促音の表す意味も異なるとされている。

先ず、語末の促音は「瞬間性、急な終わり方、スピード感」という象徴的な意味を表す。

例：「ぱっ」：動作・変化・状態などの発生が極めて突然、急である様子

「ぷっ」：閉ざした口を急に開いて、一吐きする時に出る音

「にたっ」：ばかにしたように、しめたというように、短い時間、笑いを浮かべる様子

また、「がっかり」「ぼったり」でわかるように語中に促音を含むものは強調の感じを表現する。

(2) 撥音

日本語の擬音語・擬態語にみられる撥音は柔軟性、弾力性を表す。しばしば、鳴り響く感じを伴う。

例：「びょんびょん」：連続して何度も飛んだり、跳ねたりする様子

「ふんわり」：極めて、柔らかく膨らみ、弾力に富んでいる様子

「かんかん」：連続して何度も、堅い物をたたいたりしたときなどに出る音

(3) 長音

「すー」「かーん」「ずらーっ」「ふあーっ」などの長音化した擬音語・擬態語が多く見られる。長音は時間的に継続する状態、あるいは空間的広がりのある状態を表現する。また、転じて強調にも用いられる。

例：ピンと張り詰めた雰囲気

ピーンと張り詰めた雰囲気

「ピン」と「ピーン」はいずれも雰囲気の緊張を描写するものであるが、「ピーン」のほうが、緊張の度合いが強い印象を与える。

3.1.3 子音

(1) 無声音・有声音

擬音語・擬態語には「きらきら/ぎらぎら」、「たらたら/だらだら」、「ぷすぷす/ぶすぶす」のように、無声音(清音、半濁音)/有声音(濁音)のペアを成すものが多い。

Elena Latchezarova Pantcheva(2006)によれば、「[p/b, t/d, k/g, s/z]」など無声・有声子音が表す意味には相違が見られないが、それらの音のイメージ、あるいは評価性のレベルでは意味的な対立がみられる。具体的には「軽い」に対して「重い」、「小さい」に対して「大きい」、「良い」に対して「不適切」といった意味的なニュアンスの対立があると述べている。言い換えれば、無声音(清音、半濁音)は明るく、澄んで、緻密で、軽いと

感じられるのに対して、有声音（濁音）は暗く、濁って、粗末で、重いと感じられるということである

例：

- ・「とんとん」/「どんどん」：この二つの語は物を叩く音を写すが、「どんどん」のほうが、物を力強く叩くのように感じられる。
- ・「こちん」/「ごちん」：「こちん」は堅い物と堅い物を（軽く）打ち当てた時などに出る澄んだ音である。「ごちん」は「こちん」よりも強い、大きい、濁った感じの表現である。
- ・「ぱらぱら」/「ばらばら」：「ぱらぱら」と「ばらばら」はいずれも物事が、まばらである、乱れている、散らばっている、別々になっている様子を表すが、「ぱらぱら」の方が、軽快な感じがする。
- ・「しっとり」/「じっとり」：いずれも水分・湿り気などを含んでいる様子を表す。しかし、「じっとり」は内部に含んでいる水分が、表面ににじみ出しているため、気持ちが悪いというニュアンスがある。

(2) 破裂音

一般的には破裂音を含んでいるものは強く、硬く、力のこもった感じがある。

破裂音/t/d/は「とん」「どん」「どたどた」「どっ」のような打撃と関係がある。

/k/g/は「こんこん」「ことごと」「がんがん」「きーきー」「ぎーぎー」のように、金属のような硬い表面と接触を表すことが多い。更に、両音が母音/i/と組み合わせさせたものは甲高い音を表す。

例：きーきー：連続して、何度も発する、甲高くて鋭い声や鳴き声

(3) 摩擦音

擬音語・擬態語の語頭に起こる/s/z/は「すべすべ」「さらさら」「すらすら」「さやさや」のように物の擦れ合いの感じ、または滑らかさを表す。

語頭の/h/は息あるいは息の吐き出しを表す。加えて、不確定、頼りなさ、弱さを表現すると考えられる。

例：「はーはー」：口を大きくあけて、何度も連続して、大きく呼吸をする時などに出る音

「ひらひら」：薄くて軽い物が舞ったり、翻ったりする様子

「へたへた」：気力・体力を消耗し尽くして、崩れるように倒れたり、座り込んだりする様子

「ひよろひよろ」：細長く、弱々しい感じである。また、引き続いて、足取りが危ない様子

(4) 流音

流音は滑らかに回転する感じがある。

例：「くるくる」：何度も連続して回転するように、軽快に動いたり、変わったる様子

「からり」：堅い物が擦れ合ったり、短い距離を転がったりする時に出る音、また、「ゆったりとした感じ、完了」といった意味を表す場合もある。

例：「ころり」と「ころっ」はいずれも基本的には比較的小さくて軽い物体が転がる様子を表しているが、「ころっ」のほうが、転がり方が早くて急な終わり方をしているように感じられるのに対して、「ころり」のほうは、転がり方がゆったりしているように感じられる。

(5) 鼻音

日本語の擬音語・擬態語にみられる鼻音/m/は柔らかく円やかな感じで、はっきりしていない状態を表す。

例：「むにゃむにゃ」：人に聞こえないぐらいの小声で、また、口の中で、言う様子

「もそもそ」：行動・動作・動きの言い方などがはっきりせず、緩やかだったり落ち着きがなかつたりする様子

また、鼻音/n/は柔らかく粘りのある感じに加えて、ゆったりとした感じ、行動が遅い様子を表す。

例：「ねっとり」：かなりの粘り気がある様子

「なよなよ」：細くて、柔らかく、張りのない様子

「のろのろ」：進み、動きが遅い様子

「のそのそ」：動作・行動が、連続的に鈍い様子

3.2 ベトナム語

これまでのところ、ベトナム語の擬音語・擬態語の音と意味との相関関係についての研究は少ない。そして、ベトナム語の擬音語・擬態語の音と意味の相関関係は規則性がない、体系性もないという記述もある。ポー・ビン(1995)はベトナム語の擬音語・擬態語の韻・頭音と意味の関係について次のように幾つか述べている。

3.2.1 頭音

(1) 頭音/l/と/k/

二音節語の擬音語・擬態語にみられる頭音/l/と/k/は行動・動作が遅くて、きっぱりとしていないニュアンスがある。

例：lờ khờ 「ローコー」：頭がよくない、動作がにぶい

lù khù 「ルークー」：動作が鈍い、活発的に見えない様子

lụ khụ 「ルークー」：お年寄りが元気でない姿などを現す

(2) 頭音 /tr/

頭音 /tr/ はよくない気持ちの感じや調和の取れていない状態を表す。

例：trục trặc 「チュツ(ク)チャツ(ク)」：阻害、不幸

trắc trở 「チャ(ク)チャー」：何かをする時、うまくできず、成功しないことに遭う場合に用いられる

trần trọc 「チャンチョッ(ク)」：考えすぎて心安らかに寝られない様子

3. 2. 2 韻

(1) 韻/ăn/

韻/ăn/ は、元の音節の意味に「称賛に値する」という意義素をもたらす。

例：ngay ngắn 「ガイガン」：整っていて乱れない様子

nhỏ nhắn 「ニョーニャン」：体などの小さい、可愛い様子

(2) 韻/um/

韻/um/ は、概して物事の縮まったり、集まったりする様子を表す。

例：túm tùm 「トゥントイン」：にこにこ笑っている様子

xúm xít 「シュンシツ(ト)」：たくさん集まっている様子

khúm núm 「クーンニユン」：目上の人や権力がある人などの前で、怖くて、頭が上げられない、可哀想な様子

(3) 韻/ênh//ang/

韻/ênh//ang/ を含むものは普通の程度を超える様子を表す。

例：khệnh khạng 「ゲインカン」：体の重く、大きいものがゆっくり歩く様子。

vênh vênh 「ウェンウァン」：高慢な態度

(4) 韻/âp//ênh/

韻/âp/ と韻/ênh/ が現れるものは「平らでない状態」「不安定」「正常」を表現する。

例：bập bênh 「バツ(プ) ベイン」：水の中で物が浮いたり、沈んだりするような様子

gập ghềnh 「ガツ(プ) ゲイン」：高低があって平らでないこと

4. 日本語からベトナム語への擬音語・擬態語の翻訳の現状

現在、数多くの日本の漫画、文学作品などが外国語に翻訳されている。そして、ベトナムでも日本の漫画は人気があり、ベトナム語へ翻訳されたものが多く存在している。4. では、ベトナム語への日本語の擬音語・擬態語の翻訳の現状を分析し、考察する。

4.1 翻訳の現状の分析

4.1.1 分析した作品

本稿では、調査対象としてベトナムでかなりの人気がある作品で、ベトナム語に翻訳された二つの漫画と一つの文学作品を選んだ。「スラムダンク、第 31 巻」（井上雄彦、1996）、「花より男子、第 19 巻」（神尾葉子、1998）、「“文学少女”と飢え渴く幽霊、第 2 巻」（野村美月、2013）である。

4.1.2 分析結果

表 2 では日本語版における擬音語・擬態語がベトナム語版でどのように翻訳されているかを挙げる。

表 2：ベトナム語版での翻訳の現状

		花より男子		スラムダンク		“文学少女”と 飢え渴く幽霊	
翻訳された場合	語訳は擬音語・擬態語ではない	19	12.8%	7	10.0%	68	60.2%
	語訳は擬音語・擬態語である	14	9.4%	22	31.4%	44	38.9%
翻訳されなかった場合	省略された	18	12.1%	8	11.4%	0	0%
	日本語でそのまま残される	98	65.8%	33	47.1%	1	0.9%
合計		149		70		113	

注：・「文学少女」は全巻ではなく、1から50ページまで擬音語・擬態語を考察した。

・日本語の擬音語・擬態語がベトナム語版で翻訳されなかった場合：

「スラムダンク」第 31 巻、「花より男子」第 19 巻、「文学少女」の 1 ページから 50 ページまでで使用された擬音語・擬態語はそれぞれ 70 語、149 語、113 語であった（延べ語数）。表 2 からわかるように、漫画の擬音語・擬態語（ほとんどは擬音語である）は「スラムダンク」で 58.5%以上、「花より男子」で 77.9%翻訳されていない。一方、小説では 100%近くが翻訳されている。また、「スラムダンク」「花より男子」では、絵 1 のように日本語で書かれた擬音語・擬態語がそのまま残された例が多い。そして、ほとんどは漫画の吹き出し（speech balloon）の外に書かれた擬音語・擬態語である。また、日本語をローマ字にただけのものもみられる。

例えば：きゃっ（「“文学少女”と飢え渴く幽霊」25）

Kya...

上記はベトナム語版であるが、「きゃっ」をそのままアルファベットで書き写している。

さらに、ベトナム語版の漫画で省略された原文の擬音語・擬態語も多い。「花より男子」では12.1%であり、「スラムダンク」では11.4%ある。

漫画で翻訳者が敢えて擬音語・擬態語の「省略」、すなわち「消去」を選択したのは、これらの表現がなくとも絵で状況を理解することが十分可能である場合やまた言葉遊び的な要素があり、翻訳が難しい場合であったと考えられる。ところが、日越両語にもある表現なのに、翻訳されず、そのまま残されている場合もあり、この点は不明である。

例えば、心臓のどきどきが高まっている様子を表す「どきどき」（「花より男子」）はベトナム語では「thình thịch」「hồi hộp」であるが、日本語をそのまま残している。

・翻訳された場合

「“文学少女”と飢え渴く幽霊」における擬音語・擬態語は100%近く翻訳されているが、そのうち43%は擬音語・擬態語への翻訳であった。他は、日本語に相当する訳語がないため、意味を説明する言葉が使われている。または、比喩表現、原文の意味内容の変更もあった。この手法で翻訳されたものはほとんどが擬態語であった。

例えば、「長い睫毛を伏せて目を閉じ、喉をそらして、うっとりとつぶやく」（「“文学少女”と飢え渴く幽霊」11）という文で「うっとりとつぶやく」はベトナム語版で「lắm bảm một cách sung sướng」（楽しそうにつぶやく）に翻訳された。他の例では、グズグズ「花より男子」が Chậm như rùa（亀のようなゆっくりある）に翻訳された。

漫画では、ベトナム語訳も擬音語・擬態語を使っており、擬音語・擬態語以外の訳語では感嘆詞が多く見られる。漫画は小説と違って、言葉で説明する手法があまり見られない。例えば：はっはっ「スラムダンク」

hộc hộc（ホッ(ク) ホッ(ク))（擬音語）

バチン「スラムダンク」

Bình（ビン）（擬音語）

ギャアアア「花より男子」

ôi trời（オイ チョイ）（感嘆詞）

加えて、語訳が英語から借用されている擬音語もある。

例えば、バキッ「花より男子」

Crack

「バキッ」は堅い、丈夫なものが折れるときなどに出る音で、ベトナム語にも、「cắc」という音があるが、ベトナム語を使わず、英語の crack を借用している。また、日本語を残しながらベトナム語訳を併記する例もいくつかあった。（絵2）

4.2 まとめ

以上、日本語版、ベトナム語版の漫画、文学作品からデータを集計し、漫画、文学作品における擬音語・擬態語の翻訳の現状について調べてみた。

小説の場合、特に擬態語の翻訳においては表現の持つ意味を重視し、言葉や言い回しを加えたりするケースが多い。しかし、漫画は小説と違って、その媒体の性質上、翻訳もなるべく簡素な表現にしなければならず、小説のように、説明手法を取りにくい（河崎、2006）。

また、日本語にある表現がベトナム語にない場合もあるので、翻訳の時、擬音語・擬態語を使わずに、言葉などで原文に対応する意味を説明する場合も多いとみられる。そして、ある目的、意図がある場合、原文の語を省略することもある。

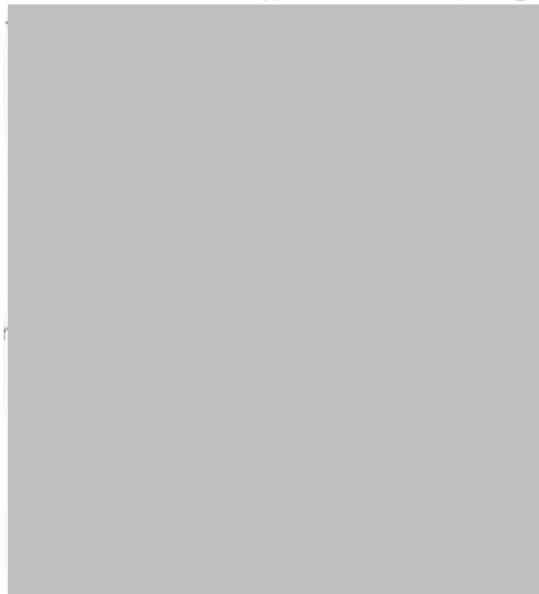
絵 1 : ベトナム語版「花より男子」



絵 2 : ベトナム語版—「スラムダンク」



絵 3 : ベトナム語版—「花より男子」



5. ベトナム人の日本語学習者にとっての擬音語・擬態語の難しさ

5.1 アンケート調査

5.1.1 アンケート調査の目的と対象

日本語の擬音語・擬態語はベトナム人学習者にとっては難しいと言われている。それで、擬音語・擬態語のどういう点がベトナム人学習者を悩ませているのか、また、ベトナム人学習者は擬音語・擬態語についてどんな考えを持っているのかという点を知りたいと思った。これらのことを調べるために、ベトナム人学習者を対象として日本語の擬音語・擬態語に関するアンケート調査を実施することにした。アンケート用紙を 60 名に配布し、48 名から回答を得た。この 48 名の回答者のうちで、日本語能力試験を受けたものは 41 名で、N1 が 3 名、N2 が 18 名、N3 が 17 名、N4 が 2 名、N5 が 1 名あった。

5.1.2 アンケート調査の内容と結果

表 3：アンケート結果

問	問の内容	選択	人数	%
1	あなたは日本語の擬音語・擬態語によく出会いましたか。	たいへんよく出会った	14	29.2%
		ときどき出会った	30	62.5%
		どちらともいえない	0	0%
		あまり出会わなかった	3	6.3%
		まったく出会わなかった	1	2.1%
2	日本語の擬音語・擬態語を難しいと思いますか。	たいへん難しい	18	37.5%
		やや難しい	21	43.8%
		どちらとも	7	14.6%
		やや易しい	2	4.2%
		たいへん易しい	0	0%
3	擬音語・擬態語はどのような点が難しいと思いますか。	表記	4	8.3%
		意味	24	50.0%
		文法・使い方	14	29.2%
		発音	2	4.2%
		その他	4	8.3%
4	問 3 に対して、どうしてそのように思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・発音が同じであり、似ている言葉が多いので、どんな意味を持っているか迷いやすく、覚えにくい。 ・正しい意味が想像しにくい。 ・発音や意味が似ている言葉が多いので、はっきり区別できない。 ・一つの言葉にいろいろな意味があるので覚えにくい、間違いやすい。 ・使い方が複雑であり、どんな時に使ったらいいのか分からないので、難しい。 		
5	あなたは擬音語・擬態語をよ	よく使う	3	6.3%

	く使っていますか。	時々使う	20	41.7%
		どちらも	3	6.3%
		あまり使わない	21	43.8%
		まったく使わない	1	2.1%
6	あなたが日本語を学習しているとき、擬音語・擬態語は授業や教材でどの程度とりあげられていましたか。	じゅうぶんに	0	0%
		かなり	23	47.9%
		どちらも	3	6.3%
		あまり	21	43.8%
		まったく	1	2.1%
7	あなたは擬音語・擬態語をどのくらい覚えていますか。	たいへん多い	1	2.1%
		やや多い	5	10.4%
		どちらも	10	20.8%
		やや少ない	30	62.5%
		たいへん少ない	2	4.2%
8	擬音語・擬態語の学習は大切だと思いますか。	とても大切	23	47.9%
		やや大切	23	47.9%
		どちらも	2	4.2%
		あまり大切ではない	0	0%
		まったく大切ではない	0	0%
9	問 8 に対して、どうしてそのように思いますか	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活では、日本人がよく擬音語・擬態語を使っているため、擬音語・擬態語が理解できれば、日本人の話も聞き取りやすいためである。 ・擬音語・擬態語を覚えたら、日本人との会話が自然になるし、気持ち・物事などをきちんと伝えられるためである。 		

アンケート調査から次のようなことがわかった。

問 1 の擬音語・擬態語に出会った頻度については「たいへんよく出会った」「ときどき出会った」と答えた人は 91.7%であった。つまり、擬音語・擬態語がよく使われていることを示している。

問 2 の擬音語・擬態語の難しさに関する質問では、37.5%が「たいへん難しい」、43.8%が「やや難しい」と答えており、多くの学習者が難しさを感じている。

問 3 の「擬音語・擬態語はどのような点が難しいと思いますか」という質問に対しては、「意味」と答えた人が 50%で一番多い。次に文法・使い方で 29.2%であった。そして、問 4 で、その理由を尋ねた。

問 3 で「意味」と答えた人の半数以上（13 人）が「発音が同じであり、似ている言葉が多いので、どんな意味をもっているか迷いやすく、覚えにくい」と答えた。他には、正しい意味が想像しにくいや「発音や意味が似ている言葉が多いので、はっきり区別できない」や「一つの言葉にいろいろな意味があるので覚えにくい、間違いやすい」などの答

えがあった。次に、「文法・使い方」と答えた人は使い方が複雑であり、どんな時に使ったらいいのかわからないので、難しい」と答えた。

問 5 は擬音語・擬態語を使う頻度についての質問であるが、「よく使う」人が 6.3%とあまり使われていないことがわかる。この結果は問 7 の回答と関係があるように思う。擬音語・擬態語を覚えていなければ、当然、使用頻度が低くなるからである。ところで、日本語レベルから見れば、どうだろうか。日本語能力 N1、N2 を持っている人の中にも、「たいへん多い」と答えた人は誰もいなかった。「やや多い」と答えた人も 4 人しかいない (19.0%)。そして、「やや少ない」と答えた人が 11 人である (52.4%)。当然、N3,N4 を持っている人もあまり覚えていない。

問 8 の回答では、擬音語・擬態語の学習が「たいへん大切だ」と「やや大切だ」と答えた人が 95.8%であった。このように日本語学習者にとって、擬音語・擬態語の学習は欠かせないものであることがわかった。問 9 でその理由について尋ねた。この質問に対する回答は「日常生活では、日本人がよく擬音語・擬態語を使っているため、擬音語・擬態語が理解できれば、日本人の話も聞き取りやすい」「擬音語・擬態語を覚えたら、日本人との会話が自然になるし、気持ち・物事などをきちんと伝えられる」この二点にまとめることができる。

結論

本研究では、日越両語の擬音語・擬態語の形態特徴、音と意味との関係、翻訳の現状、学習する上での難しい点を調べた。両語における擬音語・擬態語の共通点は反復形が多いことである。そして、音と意味には深い関係がある。

日本語の擬音語・擬態語は、発音の響きが意味に直結していると言われるので、日本語の中で育っていないベトナム人をはじめ、外国人の日本語学習者には意味の類推ができない。だが、日本語の擬音語・擬態語の音と意味の深い関係が理解できるようになったら、擬音語・擬態語を学習する時の困難さが緩和されるだろうと思う。

両語の擬音語・擬態語は大きく異なっているので、ベトナム語へ日本語の擬音語・擬態語の翻訳する際にはいろいろな問題がある。ベトナム語の擬音語・擬態語で表せないものも多い。擬音語・擬態語ではなく、説明文になったり、省略までされる場合もある。

本研究では、両語の擬音語・擬態語の詳細な用法について、まだ検討していない。また、擬音語・擬態語の学習の困難さについて、アンケート調査と考察を行っただけで、学習の困難さの解決方法などはまだ研究していない。今後はこれらの問題についての研究を進め、学習者が日本語を習得するのに役に立つ方法を探っていきたいと思う。

参考文献

- 山口仲美（2003）『暮らしのことば、擬音・擬態語辞典』講談社
- 天沼寧（1984）『擬音語・擬態語辞典』東京堂出版
- 篠原和子・宇野良子（2013）『オノマトペ研究の射程-近づく音と意味』ひつじ書房
- 田守育啓・ローレンス スコウラップ（1999）『オノマトペ・形態と意味』くろしお出版
- 田守育啓（2002）『オノマトペ 擬音・擬態語をたのしむ』岩波書店
- 川口健一（1995）『エクスプレス ベトナム語』白水社
- 河崎佳代（2006）『日本のマンガのスペイン語訳における擬音語・擬態語の表現分析』
- 猪瀬博子（？）『マンガにみる擬音語・擬態語の翻訳手法』
- Elena Latchezarova Pantcheva（2006）『日本語の擬声語・擬態語における形態と意味の 相関についての研究』
- レー・バン・クー（1989）『ベトナム語の擬音語・擬態語』日本語教育、68 号：131-135

参考サイト

- <http://data.ulis.vnu.edu.vn/jspui/bitstream/123456789/628/1/31%20NGA%20Bui%20Thi%20Hang.pdf>
- <http://www.mevietnam.org/NgonNgu/DXK/dxk-cautrucamtiet.html>
- http://www.khoavanhoc-ngonngu.edu.vn/home/index.php?option=com_content&view=article&id=187:mt-kho-sat-v-biu-tng-ng-am-ca-thanh-iu-v-t-co-yu-t-sau-biu-th-mc-cao-trong-ting-vit&catid=71:ngon-ng-hc&Itemid=107

漫画・文学作品

- 神尾葉子（1999、第 19 巻）『花より男子』日本語版・ベトナム語版 集英社
- 井上雄彦（1996、第 3 巻）『スラムダンク』日本語版・ベトナム語版 集英社
- 野村美月（2013、第 2 巻）『“文学少女”、飢え渴く幽霊』日本語版・ベトナム語版 エンターブレイン